

6月
定例会



VOL. 45

いかた 議会だより

平成28年(2016年)8月発行

編集 伊方町議会

議会だより編集委員会

電話 0894-38-2662

きはなはいや伊方まつり2016



今回の主な内容

第 41 回 臨時 会	2P
第 45 回定例会の動き・主な決定事項	3P
い っ ぱ ん 質 問	4P
行 政 視 察 報 告	5P
第 1 回 議 員 研 修	6P~7P

第41回臨時会報告

第41回臨時会は、5月10日に開催され、上程された議案は、いずれも原案のとおり承認・可決・同意されました。

【主な決定事項】

町長の専決処分事項報告について

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例制定

固定資産評価審査委員会条例の一部改正に伴う経過措置を改正

伊方町税条例等の一部を改正する条例制定

軽自動車税の環境性能割、種別割に関する規定の整備、法人町民税法人税割の引き下げに伴う規定の整備、固定資産税の特例措置の見直し等に係る規定の整備

伊方町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額に係る限度額の改正

その他

町道路線の認定について

(起点)与修 1483 番地先から(終点)与修 1430 番地先までの延長約 105 m 区間を「町道与修地区内 1 号線」として認定し管理するもの

人事

伊方町教育委員会委員の任命について

阿部 勇二氏(串)

6月定例会の動き

第45回定例会は、6月23日～28日に開催され、上程された議案(報告2件、補正予算3件、請負契約1件、その他4件)は、いずれも原案のとおり可決・承認されました。

【主な決定事項】

報告

平成27年度伊方町一般会計繰越明許費繰越計算書について

翌年度繰越額 921,753,935円
(事業内訳)

三崎中央公民館解体工事他15事業

平成27年度伊方町一般会計事故繰越し繰越計算書について

翌年度繰越額 150,000,000円
(事業内訳)

原子力災害対策施設等整備事業

請負契約

足成漁港東防波堤改良工事請負契約の締結について

契約金額 160,380,000円
契約相手 藤川建設(有)

その他

町道路線の認定について

(起点)伊方町亀浦字柿ケ谷1346番1地先から(終点)伊方町亀浦字柿ケ谷1336番2地先までの延長372.6mの区間を「町道柿ケ谷線」として認定し管理するもの

町道路線の廃止について

(起点)伊方町九町から(終点)伊方町亀浦までの「町道柿ケ谷線」を廃止するもの

議会運営委員会の閉会中の継続調査について

議会閉会中における委員会活動の継続を決定
原子力発電対策特別委員会の閉会中の継続調査について

議会閉会中における委員会活動の継続を決定

平成28年度補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後
一般会計（第1号）	812,005	10,172,649
公共下水道事業特別会計（第1号）	3,600	256,695
小規模下水道事業特別会計（第1号）	6,700	69,206

一般会計補正予算の主な内容

(単位：千円)

事業名	事業概要	予算額
消防ポンプ格納庫新築等事業	新築工事、監理委託等一式 伊方東分団4部（亀浦）・九町分団2部（畑・須賀） 二見分団3部（大成）・二見分団4部（鳥津）	96,548
次世代につなぐ果樹産地づくり推進事業	事業実施主体：西宇和農業協同組合 刈払機、チェーンソー、雨除けハウス、動力車・台車	31,996
伊方製氷施設改修事業	製氷施設改修工事一式 工事監理業務委託	21,264
佐田岬特産品促進協議会事業	佐田岬特産品促進協議会（仮称）を設立 既存商品のブラッシュアップ、未商品化商品の商品化支援、ご当地グルメの開発等	13,400
伊方町給食センター建設事業	建設工事一式 建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事 厨房機器工事、外構工事、工事監理委託 建築確認費用一式	502,965

委員会（協議会）報告

月日	委員会（協議会）	概要
4月27日	議会運営委員会	第41回臨時会の運営について
6月1日	原子力発電 対策特別委員会	1. 伊方発電所1号機の廃止措置について 2. 伊方発電所3号機の安全対策の進捗状況について 3. その他
6月14日	議会運営委員会	第45回定例会の運営について
6月16日	議員全員協議会	1. 伊方町新エネルギー機器等設置費補助金交付要綱について 2. 伊方町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みについて 3. 伊方町学校給食センター整備事業について 4. 町道路線の認定及び廃止について 5. 平成27年度株式会社クリエイト伊方経営状況報告について 6. 平成28年度伊方町一般会計補正予算（第1号）概要 7. その他
6月23日	総務文教常任委員会	入札及び決裁に関する事務処理について

いっぱん質問



篠川長治議員

伊方発電所の耐震安全性等について

問

高知大防災推進センターの岡村特任教授（地震地質学）によると、防災科学技術研究所（茨城県）、4月14日のデータは熊本県益城町で震度7を観測した地震で上下動の加速度が地表で1339ガルを記録。過去の主な地震でも上下動は500ガル程度に収まっており、非常に大きな揺れと指摘している。四国電力は、益城町の地表で1339ガルを観測した地点でも地盤が固い地中は上下動が127ガルだったと説明しており、伊方原発が建つ岩盤地点では揺れは地表よりも大幅に小さくなるとの見解を示し、伊方3号機は想定する最大規模の地震の揺れである基準地震動650ガル

を上回る対策工事を実施している。

しかし、原発立地の伊方町の住民としては、南海トラフ巨大地震、発電所前面にある中央構造線による地震は大変な心配である。

伊方発電所の耐震安全性等について所見をお伺いする。

答

副町長

4月14日から発生した一連の地震は、熊本地方に大きな被害をもたらし、特に、16日午前1時25分に、熊本地方を震源として発生した地震によって、伊方町でも震度4を観測し、伊方発電所では10ガルを観測している。

町では地震発生後、直ちに災害警戒本部を設置するとともに、町内の被害状況を調査したところ被害がないことを確認するとともに、伊方発電所の設備や環境への放射能の影響がないことを確認したうえで、防災行政無線で住民広報を行った。

熊本県益城町では最大1580ガルを観測したとのことだが、同じ地点の岩盤部の観測記録と

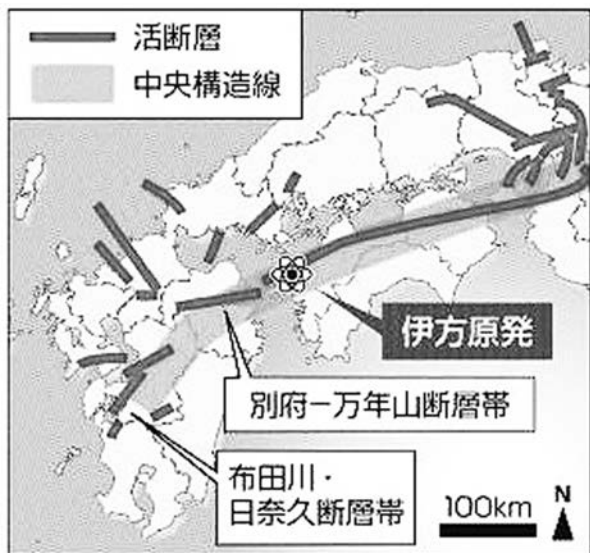
しては2000〜3000ガルと聞いている。

今回の地震は、熊本県内の日奈久・布田川と呼ばれる断層帯、大分県の別府・万年山と呼ばれる断層帯といった異なる場所ですら複数回の地震が発生したことから広範囲にわたったものと考えられている。

このような現象に関連し、伊方3号機の新規制基準適合審査においては、中央構造線の敷地前面の54kmが動いた場合だけでなく、西は今回揺れた別府・万年山断層帯から東は紀伊半島までの480kmの長さの断層が連動して動いた場合も想定して、原子力規制委員会の審査を受けている。

直下型地震については、これからも日本どこかを襲うに違いないことを私たちは常に心に刻んでおく必要があり、非常に重要な考え方であると受け止めており、肝に銘じてお

なければならないと思っています。昨年10月伊方発電所の立地町として、伊方3号機の新規制基準へ対応状況を確認し、再稼働について地元了解の判断をしたが、「事故は想定していないところで起きる」という考えを持ち続けることが重要であり、事業者に対しては、今後とも安全性を最優先に取り組み、現状に甘んずることなく、更なる安全性の確保を不断に追及し、ヒューマンエラーの防止や迅速かつ正確な情報提供などへの更なる取り組みを求めていきたい。



行政視察報告

研修の経過（議員派遣の概要）

本議会は、平成28年5月24日に石川県珠洲市役所において、様々な行政分野における優れた先進事例を学び、本町の振興施策の参考とすることを目的に行政視察を実施しました。

派遣議員

竹内 一則、廣瀬 秀晴、清家 慎太郎、福島 大朝、菊池 隼人、山本 吉昭、小泉 和也、中村 敏彦、吉川 保吉、菊池 孝平、中村 明和、高岸 助利、吉谷 友一（以上13名）

去る5月24日、本町の振興施策の参考とすることを目的に、「観光計画等」、「空き家を活用した移住、定住施策」及び「小中一貫教育」の3点について、石川県珠洲市担当職員との質疑を交え、行政視察を実施しました。

【① 観光計画等】

能登半島の先端に位置する珠洲市は、人口約1万5千人で、昭和29年の市制施行時の半数以下にまで減少していることや、高齢化率が約46%となっている中、観光振興による地域の活性化を図るため、「東京から飛行機と車で約1時間30分。」といったアクセス面における利便性を背景に、自然景観、文化庁の日本遺産「能登のキリコまつり」、をはじめ、奥能登4市町各界の協働により、地元産品にこだわり開発されたグルメ「能登丼」などの観光資源を活かし、「楽しく学び遊ぶ観光」、「食を楽しむ観光」、「伝統文化に感動する観光」などを柱とした、観光マスタープランによる様々な施策を展開しております。

その主なものは、能登空港を利用して市内に宿泊した観光客に対し、1人当たり2,000円の助成をはじめ、石川県レンタカー協会に加盟のレンタカーを利用して市内に宿泊した観光客に対し、1台当たり2,000円を助成するなどの施策を推進し、観光客をはじめ、市内の道の駅の集客数、売り上げが増加しているなど、成果を出しております。

【② 空き家を活用した移住、定住施策】

空き家を活用した移住、定住施策は、2040年の人口を1万人とするため、年間転入者数を60人程度増加させ320人程度とするなどの具体的な数値目標を掲げ、これを達成するための主要施策として位置づけられております。

その主なものは、空き家バンクを立ち上げ、売買又は賃貸可能な空き家を登録し、市のホームページでの紹介により、5月現在で、60組139名の利用実績を見ております。

平成27年度からの新規事業としては、空き家バンク登録物件の購入者を対象に、100万円を上限に、当該物件の購入経費の1/3を補助するなどの施策を推進し、移住された方から、「珠洲にはこの地で生きるための知恵が今でも継承され残っている。」などの声が多数あり、転入者の増加傾向の兆しが見えてきております。

【③ 小中一貫教育】

珠洲市においては、人口減少に歯止めがかからず、「人口減少社会に学校教育のあり方」について検討し、1中学校に1小学校しか存在しない校区においては、「小中学校」とし、一貫した教育の実現を目指しており、現在では、市内4校区のうち2校区において、「小中学校」が開校しております。

その主な特色は、「4-3-2制」を導入し、1年生からでも英語に親しめるよう、「きりり英語科」の実践や、9年間の生活・総合の時間を活用し、郷土愛を育む「ふるさと珠洲科」などの実践に取り組んでおり、児童・生徒の個性の伸長が図られているようであります。

珠洲市におけるこれらの取り組みは、伊方町の今後の振興施策を推進するうえで、示唆に富んでおり、必要に応じ検討すべきであると思っております。



第1回議員研修

◆ 研修レポート ◆



高岸助利議員

7月29日に開催されました。「平成28年度第1回町議会議員研修会」に参加いたしましたのでその報告をさせていただきます。

食環境ジャーナリスト「金丸弘美先生」による「食」が地域の元気をつくる。

「地元」の力 地域創造7つの力」と題して、

- ①デザイン力↓トータルな仕組みづくりが道を拓く
- ②発信力↓核となるものをどうつかむか
- ③知恵力↓発想次第でまちおこしはいくらでも出来る
- ④コミュニケーション力↓「地元」の力をどうして見出し育むか
- ⑤編集力↓手元にあるリソース

をどう活かすか

⑥伝統力↓昔ながらのものの価値と知恵を見直そう

⑦連携力↓組み合わせれば1+1は3にも4にもなる

の7つのテーマについて全国の実践例・成功例を話されました。地方（自治体）の背景や取り組みは、それぞれ違いがあるが、

現状をいかに打開するかという思いと発想、又それを支える自治体の関与が大切と感じました。

小さくても地域経済を創ることが大切で、若者の人材育成等、物づくり・人づくりにより多くの予算の投入が大事ではないかと思えます。

また、時代はまさにインターネットの時代であり、これを活用して家族が楽しめる・女性が楽しめる施設と共に海外からの誘客にも取り組むべきとの話でした。

幸い我が町、伊方町でも一生懸命に取り組んでおられる組織、グループも多数見られ、行政と

一緒になって道を切り拓いて行く事を望んでおり、議会に身を置く者の一人として、残された任期は後わずかではあるが、積極的に関わって参りたいと思いつながり帰町致しました。

以上、誠に簡単ではありますが私の研修レポートとします。



◆ 研修レポート ◆



篠川長治議員

食環境ジャーナリスト金丸弘美先生の講演内容等から、今治の直売所「さいさいきて屋」は、農産物（野菜・果物・花）はもちろん、牛肉・豚肉・鶏肉・鮮魚類も地元今治産にこだわっており、安心・安全な農畜産物を提供している。今、直売所は全国で約16,800か所あり、JAさんの直売所の売上は約2,811億円ある。全国の約30%を占めています。そのトップを走っているのが間違いなく、今治の「さいさいきて屋」さん、売上約28億5千万円。それから子どもたちの食育に投資して、学校給食とも提携を徹底して、一年間の食材のリストを作って、栄養士さんの3年間のレシピ（料理・ケーキなどのつくり方）全部出させて、それを整合させるといいう取組みをしている。

こういうことをやっている学校給食というのは、全国でも少ないという事です。非常に素晴らしい取り組みをしている。

直売所「さいさいきて屋」は、平成12年当初は、30坪あまりの小さな店舗。出荷農家も90人と本場に小さなスタートだった。売上は、初年度より順調に伸び3年目には100坪の店舗へ、そこから益々売上、出荷農家が増え続けた。女性・高齢者・小規模兼業農家の活性化を目的に始めた事業がわずか5年で出荷会員農家800人、売上8億円と伸び続ける結果となった。

直売所でこだわったことが何点かある。前述のように生鮮3品を揃え、かつ今治産に徹すること。農産物直売所ではあるが、肉も今治産・魚も今治産ということだ。そして各種加工品・プライベートブランドの商品も原材料は今治産の農畜産物を使うことを原則とした。このように店内全てを今治産100%に近づけることは、大手スーパーとの差別化でありオンラインワンになることができる方法である。そして、加工業者さん

は今治の業者さんを最優先している。また、ナショナルブランドの一般食品などの仕入も地元今治の業者さんに委託している。理由は「物とお金を地元で回す」このことが今治の活性化につながるかと考えているからだ。原材料や商品を買ってもらったり、加工してもらったりを地域内で繰り返すことが地域経済の活性化である。経済の中心は都市部になりがちであるが、地方が生き残るためには、地域のことは、なるべく地域で完結できる仕組みを構築すること、これが「グローバル」でなくて「ローカル戦略」ではないかと思っている。そして「地域と人の絆」になるのだと！「彩菜の消費循環と6次産業化への道筋」そして、平成19年に国内最大級の複合型直売所としてオープンしたのが現在の「さいさいきて屋」である。この新しい一連の複合施設に親しみを込めて「彩菜」（さいさい）と呼んでいる。彩菜の飲食部門「SAISAI CAFE」と「彩菜食堂」には、セルフ方式食堂・パティスリー、ベーカリー・ジュエラート、生ジュースなど多くの工房を配した。

この飲食部門においても常に今治を意識し、原材料については全て直売所（さいさいきて屋）より仕入れられている。と言うよりも、正直なところ直売所では旬の物が一番多く出荷されるため売れ残りも多くある。飲食部門においてその売れ残りを利用してメニューを考え、つくることによつて直売所の売れ残りが少しでも減ることを目論んで始めたのが飲食部門であった。

「カフェはスイーツを売っているのではない。直売所に出荷されたフルーツをたくさん売るためにスイーツという形にして販売している。イチゴにスポンジと生クリームを添えて販売している。そうしたら世間の人がイチゴショートケーキだと言っているだけだ」このようになるべく旬の新鮮な素材を活かすことを心掛けることを飲食部門のコンセプト(概念・発想・着想)とした。オール今治で作られた、安心・安全・旬の素材を活かしたスイーツは評判を呼び「さいさいきて屋×スイーツ」という相乗効果を生み、消費循環が出来上がった。

福井県高浜町議会との意見交換会の開催

6月30日（木）、福井県高浜町議会（原子力対策特別委員会）の行政視察研修として、次のテーマで伊方町議会との活発な意見交換が行われました。

- ① 再稼働に向けた現状及び議会としての手続き
- ② 発電所の長期停止による地域経済への影響について
- ③ 避難計画、避難訓練等の状況
- ④ 伊方原発1号機の廃炉に向けた今後について



【町内めぐり】

町内小学校3年生が授業の一環として、町のいろいろな施設をめぐりました。役場の中の議場にも子ども達がやってきて、「うわ～すごい。また来てみたいな」という声が聞かれました。定例会は、3・6・9・12月と開催されます。



議 会 日 誌

- | | | | | |
|--------|---|------------|-----------------------------------|------------|
| 5月1日 | 佐田岬灯台プレミアム100
第1回はなはな祭り | 6月23日 | 第45回定例会
総務文教常任委員会 | |
| 3日 | 中元清吉氏頌徳碑除幕式・祝賀会 | 27日 | 町遺族会総会
町商工業協同組合通常総会 | |
| 10日 | 第41回臨時会 | 28日 | 第45回定例会 | |
| 11日 | 県町村議会議長会全員協議会（上島町） | 29日 | 郡障害者協会総会 | |
| 13日 | 町区長会 | 30日 | 高浜町議会視察訪問
八幡浜地区施設事務組合臨時会 | |
| 14日 | 国道197号松柏トンネル起工式 | 7月1日 | 国道197号地域高規格道路建設促進期成
同盟会定期総会 | |
| 17日 | 町商工会通常総代会
定期監査・例月現金出納検査（監査委員） | 5日 | 第1回花橘を守る会
三崎高校教育振興会第1回理事会 | |
| 19日 | 全国原子力発電所所在市町村協議会総会（東京） | 6～8日 | 第63回四国地区人権教育研究大会（高知） | |
| 23～25日 | 行政視察研修（石川県珠洲市） | 11日 | 町人権対策協議会・人権教育協議会定期総会 | |
| 26日 | 国道197号地域高規格道路建設促進期成同盟会
監査 | 11～12日 | 全国原子力発電所立地市町村議会議長役員会・
定期総会（東京） | |
| 30日 | 佐田岬ツーリズム協会通常総会 | 13日 | 県町村議会議長会第2回全員協議会（松山） | |
| 30～31日 | 町村議会議長・副議長研修会（東京） | 14日 | 例月現金出納検査（監査委員） | |
| 6月1日 | 原子力発電対策特別委員会
町環境監視委員会
町国際交流協会定期総会 | 15日 | 県後期高齢者医療広域連合議会第2回臨時会
（松山） | |
| 2日 | 八幡浜地区防犯協会通常総会 | 21日 | 期成同盟会県知事要望（松山） | |
| 5日 | 町消防操法大会 | 25～26日 | 決算審査（監査委員） | |
| 9日 | 町老連総会 | 26日 | 町人権・同和教育地域推進員研修会（伊方地域） | |
| 9～10日 | 第41回部落解放・人権西日本夏期講座（高知） | 28日 | 決算審査（監査委員） | |
| 12日 | 町スポレク祭2016 | 29日 | 第1回町議会議員研修会（松山） | |
| 14日 | 議会運営委員会 | 31日 | きなはいや伊方まつり2016 | |
| 15日 | 水道事業会計決算審査・例月現金出納検査
（監査委員） | 8月2～3日 | 決算審査（監査委員） | |
| 18日 | 「大洲・八幡浜自動車道」全線の早期完成を
目指す建設促進決起大会 | 5日 | 国土交通省四国地方整備局要望（高松） | |
| 20日 | 議員全員協議会 | 決算審査（監査委員） | 8日 | 決算審査（監査委員） |